

令和8年1月 デイサービスセンター運営推進会議資料

① デイサービス： 感染症対策、近況について報告

1.感染状況予防について

令和7年1月以降、コロナやインフルエンザなどの感染者は出ておらず、落ち着いている。

予防策として職員の出勤時の体調確認やマスクの徹底。手洗いやうがい、こまめに手指消毒を行っている。利用者は送迎時の体調確認やフロア内内の換気。定期的に水分補給と手指消毒を行う。いつもと様子が違う利用者は別室に移動しバイタル測定を行ない、発熱していた場合は発熱者の対応についてマニュアルに沿って行っている。

2.デイサービス内での研修について

□令和7年7月 褥瘡と誤嚥予防について

褥瘡ができる要因の理解について、また食事の際の誤嚥予防の注意事項について、作成した資料をもとに、実際の介護現場でも起こりえる事例を交えながら研修を行った。また誤嚥予防として体位変換や姿勢については、職員同士で利用者役と介護職員役に分かれ実技研修を行った。

□令和7年8月 身体拘束・虐待防止・無断外出者対応研修

日頃何気なく行っている行為も、虐待や身体拘束にあたるのかを振り返り考えながら、その定義について再確認を行った。

無断外出者対応も含めて、ご利用者様の安全を守っていくためには定期的な振り返りが必要であり、都度確認を行っていくこととなった。

□令和7年9月 事故防止

介護現場において切り離せない事故について、過去の事例を振り返りながら行った。また実際に事故が起こった際の行動についても、事例を元に話し合いを行い事故が起こる前に自分達の職務について再確認を行うと共に、ご利用者様お一人お一人を見極めて、職員間で情報共有を行うことの重要さについて話し合いも行った。

□令和7年10月 ハラスメント防止と方針の明確化

定期的にマスコミでも問題としてあがるハラスメント問題。介護の職場ではどのようなことがハラスメントにあたるのかを、用意した資料や実際の事例等を使って職員間で話し合いを行った。ハラスメントが多様化している現在、種類や背景を理解し組織全体で共通認識を持つことの重要性についても再確認を行った。

□令和7年11月 高齢者の権利擁護の理解

日頃何気なく行っている行為が虐待や身体拘束にあたるのかを、日常の業務を振り

返りながらその定義について再確認を行った。

新しく入った職員三名を中心にはすすめたが、他の職員にも良い復習の機会となった。

□令和7年12月 プライバシーの保護・倫理と法令遵守

プライバシー保護・倫理法令遵守と、どちらも利用者の権利や尊厳を守り、信頼されるサービスを提供するための基本原則として資料を見ながら、再確認を行った。

3.デイサービス：認知症対応型デイサービスとしてのレクリエーションについて

①ゆいまーる習志野

□令和7年12月

脳の活性化や心身機能の維持・向上・生き甲斐創出を目的としたレクリエーションの更なる充実を図るため、新たな案を発表し合い企画を考えた。回想法、音楽活動、体操、手作業、畳作業、脳トレ、ゲームなど沢山の発案があり、今後の活動に取り入れていくこととなった。

4.デイサービス： 営業状況 R7.7～R7.12 (R7.12.31時点)

□新規契約者数：10名

□利用終了者：4名

(長期入所2名、死去2名)

□登録者数：32名

□一日の平均利用人数：10.9人 (一日の利用定員数12名)

□稼働率：90.9%

5.行事・レク(詳しくはブログをご確認下さい)

7月 いも餅作り



8月 夏祭り



9月 敬老会



10月 さつま芋・里芋収穫祭



11月 畑で採れたお芋で調理レク (スイートポテト・豚汁・茶巾)



12月 クリスマス会

